Ⅳ　花　き

現　況

１　キク

奥越地区では、秋植え夏ギクの定植が 10 月上旬より開始されている。多くの圃場では 10 月 20 日までで定植が終了した。9 月の降雨が比較的多く冷涼な気候が続き、定植作業が遅れ気味となった。10 月中旬の JA キク部会の出荷は、25～50 箱程度で、数人が出荷を続けている。10 月下旬からは、JA 花卉部会の「ジーニー」等のスプレーギクが出荷されている。春植えギクの親株ハウス伏せ込みは 10 月 30 日（昨年 10 月 26 日）に行われた。

病害虫はハダニ類、リゾクトニア立枯病や黒斑病がみられた。彼岸期にはオオタバコガが中発生であった。

あわら市の秋ギクは 10 月 22 日調査（昨年 10 月 17 日）で、「ミスベティ」が草丈 60～70 cm で開花終了。寒ギク「雪まつり」は、草丈 75～82 cm であり、11 月上中旬開花見込みである。また来年度用の夏秋ギクは親株の仮植えが始まっている。

病害虫はオオタバコガ類が少発生、アザミウマ類が部分的に少発生、ハダニ類は少～中発生している。秋ギク「あずま」にフザリウム萎凋病、立枯病がみられた。風車ギクにリゾクトニア立枯病が中発生している。一部の圃場で暮植え作型の定植作業が遅れている（10 月 22 日現在）。

越前町宮崎地区では、10 月 16 日の調査で（昨年 10 月 16 日）、「金風車」が草丈 75 cm、蕾径 9.7 mm で収穫間近（昨年 110 cm、収穫 50%）、「シューミルク」では草丈 114 cm、蕾径 9.7 mm で収穫盛期（昨年 165 cm、収穫はじめ）である。また春植えの 8 月咲きキクでは 9 月下旬、9 月咲きキクでは 10 月中旬に伏せこみが行われた。

病害虫としては、黒斑・褐斑病が多発、カスミカメムシ類の被害が多くなっている。

越前市で 10 月 16 日の調査（昨年 10 月 16 日）で、10 月咲きの白小ギク（品種名不明）で草丈 99 cm、蕾径 9 mm で収穫はまだ、黄小ギク（品種名不明）で草丈 115 cm、蕾径 9 mm で収穫が近い、赤小ギク（品種名不明）は 9 月終わりごろに収穫された。春植えの親株の伏せこみは 10 月下旬以降の予定である。

病害虫としては黒斑・褐斑病が少発生している。

二州地区の 8 月咲きキクの親株はハウスへの取り込みが始まっている。

10 月咲きギクは 10 月 23 日調査で、「はくろ」が草丈 100.6 cm で立弁（昨年 80.6 cm で開花始め）、「お吉」が草丈 109.8 cm で開花始め（昨年 96.8 cm で開花始め）、「ふるさと」は収穫終了であった。本年は昨年度よりも草丈が長い傾向がある。

病害虫としては、アブラムシが少発生している。

若狭地区の秋植えの 6、7 月咲きキクは 10 月 5 日から圃場への定植が始まった。

施設 10 月咲きギクは 10 月 23 日調査で、「ようせい」と「おりづる」が収穫終了（昨年も収穫終了）、「白馬」の草丈が 101.8 cm、蕾径 8.0 mm（昨年 105.2 cm、蕾径 7.8 mm）であった。生育は昨年並みであるが、ばらつきがある。

病害虫として、アブラムシ類が微発生、ハダニ類が少発生している。

施設 11 月咲き作型（電照）は、7 月中旬に定植が行われ、10 月 23 日の調査では、「ようせい」で草丈 107.8 cm、蕾径 7.8 mm（昨年 80.4 cm、蕾径 5.5 mm）、「白馬」で草丈 94.6 cm、蕾径 4.5 mm（昨年 77.6 cm、未出蕾）、「おりづる」で草丈 94.4 cm、蕾径 4.4 mm（昨年 84.8 cm、蕾径 2.0 mm）であった。生育は平年より草丈が長い。

病害虫として、アブラムシ類が微発生、ハダニ類が少発生している。

寒菊は、「冬一番」が草丈 79.2 cm（昨年 44.2 cm）、「寒桜」で草丈 66.8 cm（昨年 47.4 cm）、「新年の美」で 78.6 cm（昨年 34.4 cm）で平年より草丈は長い。

病害虫としては、アブラムシ類が微発生、ハダニ類が少発生している。

２　スイセン

越前海岸では、10 月 10 日から促成栽培の出荷が開始された（昨年 10 月 11 日）。季咲き栽培の花芽分化は、9 月 10 日時点までは昨年並みで過去より進んでいたが、9 月 25 日時点では平年並みの生育となった。

３　トルコギキョウ

坂井地区では、7 月末定植の「北斗星」等が 9 月 20 日調査で草丈 30～40 cm、10 月 22 日調査で草丈 60～70 cm で、収穫ピークとなっている。「サルサマリーン」、「ボレロマリーン」が草丈 50～60 cm で 2～3 輪開花し、出荷中である（写真 1）。レイナ系、ファルダ系は 10 月下旬より出荷を予定している。温度の降下によるバイカラー系の色の流れ、滲みは見られない。

写真 1　収穫期のトルコギキョウ（あわら市）

病害虫ではカルシウム欠乏が一部に見られ、オオタバコガ、ハスモンヨトウが部分的に中発生、茎枯病と灰色かび病が中発生、立枯病が部分的に発生している。

越前市では、10 月 16 日調査で苗冷蔵作型では 7 月 27 日に定植が行われ、10 月 16 日の調査（昨年 10 月 16 日）で、「レイナホワイト」71 ㎝（昨年 69cm）、「レイナピンク」78 cm でそれぞれ収穫後期、「ダブルミント」は草丈 78 cm で収穫盛期であった。

４　ストック

坂井地区では、夏播き秋冬どりの作型のうち直播栽培では、一番早い播種で草丈 30～40 cm、発蕾はみられない（10 月 18 日調査、写真 2）。移植栽培では、「ホワイトコランダム」が 10 月 13 日から出荷開始、「アーリーアイアン」のピンク、マリーンが 18 日から出荷が開始された。

病害虫としては、8 月上旬に直播された「アイアン」シリーズは生育初期にコナガが多発生、圃場によって差があるが、アオムシ、シンクイムシが少～多発生している（写真 3）。

写真 2　ストックの生育状況（あわら市）

越前市では、8 月 20～9 月 20 日頃にかけてカルテットシリーズが直播された。8 月 20 日頃の播種のものは草丈 33 cm、花蕾径 4 mm（昨年 8 月 22 日播種で 25 cm、花蕾径 4 mm）、8 月末播種で草丈 15 cm（昨年 8 月 29 日~9 月 5 日頃播種で草丈 10 cm で発雷なし、草丈 20 cm で花蕾径 3 mm）、9 月 10 日頃播種のものは草丈 5 cm（昨年 9 月 12～20 日の播種で 5～6 cm）である。

写真 3　シンクイムシの被害（あわら市）

二州地区では、9 月 25 日播種の作型で、草丈が 12~15 cm 程度に生育している（10 月 23 日調査）。

病害虫は、特に確認されていない。

若狭地区では、9 月上旬播種の作型（カルテットシリーズ）で、草丈が 13～20 cm に生育している（10 月 23 日調査）。

病害虫は特に確認されていない。

５　ユ　　リ

坂井地区の LA ユリ「ブラックアウト」は、9 月中旬定植で出芽が始まっている（10 月 20 日調査）。

６　アリウム類

秋咲アリウムは、あわら市のシェード栽培は 10 月上旬からの出荷になった。草丈は 50～80 cm で、例年より短くなっている。

越前町宮崎地区では、10 月 16 日の調査（昨年 10 月 16 日）で、草丈 82 ㎝（昨年 70～90 cm）で、収穫が 10 月中下旬にかけて行われた。昨年並みの出荷を見込んでいる。

７　ハボタン（写真 4）

写真 4　除葉したハボタン

福井市二日市町では、10 月 16 日調査（昨年 10 月 17 日）で、切り花用ハボタンの「晴姿」の草丈 40 cm（昨年 47 cm）で昨年よりやや短い。雨よけハウス栽培であるが、ビニール被覆はまだされていない。

病害虫としては、アオムシによる食害が少～中発生している。

福井市東郷地区では、10 月 16 日の調査（昨年 10 月 17 日）で、「晴姿」の草丈が 66 cm（昨年 53～60 cm）、「初紅」が草丈 45 cm（昨年 57 cm）である。

病害虫として、アオムシによる食害が少～中発生している。

８　その他

あわら市のキンギョソウ「アスリート」シリーズが 7 月中旬定植、ピンチ物が 10 月中旬より出荷中である。

対　策

１　８、９月咲きギク親株のハウス搬入と管理

１）親株のハウス内への植え付け適期は 11 月上旬までである。キクの根は地温が 5℃以下になると、新根の発生が悪くなる。10 月下旬からは夜温が 10℃を下回る日が増えてきているので、早めの搬入を励行する。奥越地区での目安で 10 月 30 日までに行う。

２）ハウス内に床幅 90 cm 前後、高さ 20 cm 程度の畝を準備する。土寄せ苗を 7 × 10 cm 間隔で 8～12 条植えで定植する。

３）植え付け床が乾いている場合は、早めに灌水し適湿にしておく。

４）植え付け後は保温等を行い、速やかに活着させる。その後、ハウスのサイド側のビニールを、奥越では 12 月いっぱい、若狭地域では 1 月下旬までは開放する。

5）植え付け後は月に 1～2 回、コロナフロアブル、ジマンダイセンフロアブルやダコニール 1000 等の予防剤で予防散布を励行する。コロナフロアブルはクロームメッキしていない金属部分の鋼管にはかからないように注意する。病気や虫の発生を抑制するため、適宜下葉かきを行い、風通しを良くしておく。白さび病が発生した場合は、ひどい病葉を取り除いた後にサプロール乳剤などの EB1 剤系の治療剤を散布するが、耐性菌の出現を防止するため、治療剤の散布回数は最小限にとどめる。散布後冬胞子堆が変色(褐色)したら効果があったと判定するが、ストロビー系の薬剤は変色しないので注意する（写真 5)。

写真 5　散布後の白さび病　冬胞子堆。

黒さび病の病斑がみられる場合は、ステンレス剤等で蔓延を抑制する。害虫ではアザミウマ類、ハダニ類の防除を徹底する。

白さび病、黒さび病の発生が止まらない時は、ハウス内にトンネルを設置し、十分に灌水して 40～45℃で 3 日間蒸し、冬胞子堆を死滅させる。

6）植え付け後の灌水は控え目に行う。特に植え付けが遅れた場合に土壌水分が高いと、活着不良を助長する。また、灌水する場合は晴天日の 10 時ごろがよく、灌水後は換気を十分に行う。厳寒期はできるだけ葉を濡らさないように灌水する。

写真 7　ハウス内にトンネル設置し、湿度 100%を維持して病斑を蒸し焼きにする。

2　スイセンの管理

1）灌排水対策

今年度は 10 月に降水量が平年よりやや少ないため、灌水できる圃場では積極的に灌水する。逆に圃場に停滞水がある場合は排水対策を実施する。ハウス栽培で土壌水分が少ない場合は、積極的に灌水を行い、適切な水管理を行う。

2）ハウスの雪対策を早めに行う。

中柱として、パイプや孟宗竹、丈夫な垂木を 3～4 m おきに設置し、ジャッキなどで突っ張り、補強管理を行う。この時、上部はハウスと連結すると良い。積雪荷重によって肩部が広がると倒壊しやすくなるため、ワイヤーなどでハウスの肩を引き付ける。筋交いは建設時に設置し、これを用いて補強を行う。

T 字金具でハウスを固定

設置面には板を置く

３）病害防除

病害予防のためゲッター水和剤の 1000 倍液を散布する。展着剤も加用する。

４）収穫

花一輪 2 分咲きで適期収穫する。収穫後はすぐに水揚げを行い、しおれを防止する。

写真８　ハウスの雪害対策

３　ストックの管理

１）昼間の気温を上げすぎると軟弱徒長し、さらに菌核病等の発生を助長するので換気に十分注意する。室温が 20℃以上でサイドビニールは解放、夜温が 8～10℃以下であればサイドビニールを閉めて保温するが、極力開放して通気性を確保し、病害発生を抑制する。

２）ストックのホウ素欠乏症は、葉、茎、花の各部位に発現し、葉の表皮の白化、茎割れ、茎の褐色斑点、開花異常の症状として現れる。ホウ素入り液肥を適時灌注する。

３）出蕾を始めたら灌水、液肥施用は中止し、茎葉を硬くしめる。粘質土など乾きの遅い圃場では、さらに早めにこれらの対策を行う。

４）菌核病は、連作地で発蕾期から発生し、株元から褐変して立枯れ症状で枯死する。灌水は午前中に済ませて株元の乾燥を図り、ポリベリン水和剤やトップジンM水和剤を散布する。後期はアフェットフロアブルを散布し、汚れに注意を払う。

５）収穫適期は 3～4 輪が開花した時（市場によって多少異なる）を目安とし、手で株を引き抜いて収穫する。抜いた株は株元の緑色の部分で切り戻し、花穂が曲がらないよう真っ直ぐに立てて水揚げする。

４　トルコギキョウの定植作業

１）栽培期間が長いため、特に土づくりが重要である。堆肥を 2～3 t／10 a 施用し、30 cm 以上の深さで耕起する。

２）無加温ビニールハウスでは、遅くとも 11 月中旬までに植え付けをする。植え付け日の１週間程度前からハウスを密閉して、地温を十分あげてから植え付ける。

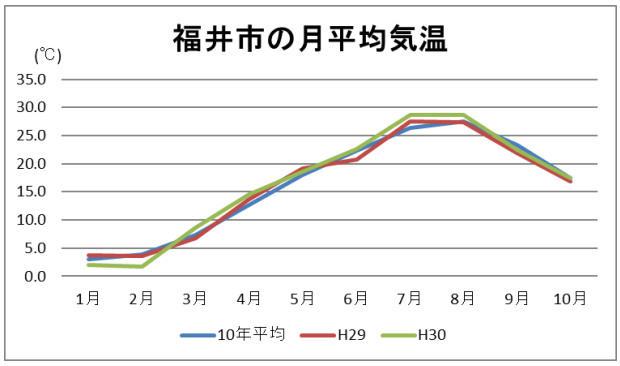
３）本葉４枚になると茎が立ち始めるのでその前に定植する。

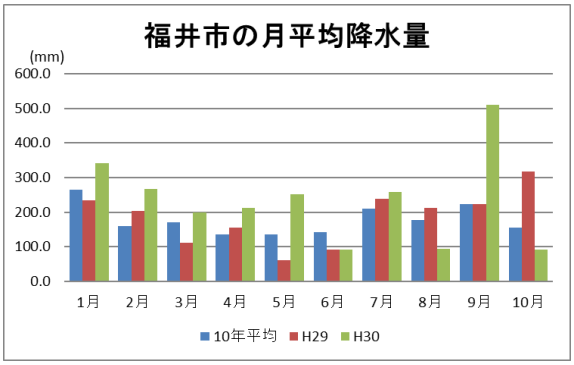
４）植え付けは、晴天日や暖かい曇天日の午前中に済ませる。

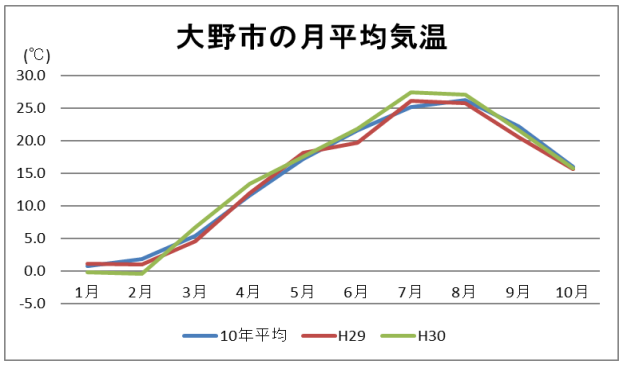
５）多湿条件下では、灰色かび病等が発生しやすいので、換気を十分に行う。発生時にはアフェットフロアブル、ポリベリン水和剤やゲッター水和剤などの薬剤で防除する。

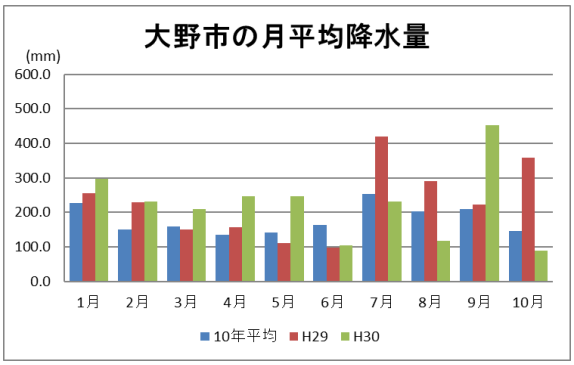
６）育苗中に植え付け後の活着促進のため液肥 1000 倍を施用する。

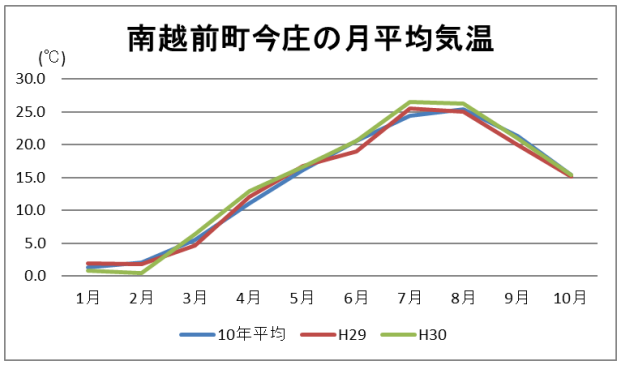
アメダスのデータ

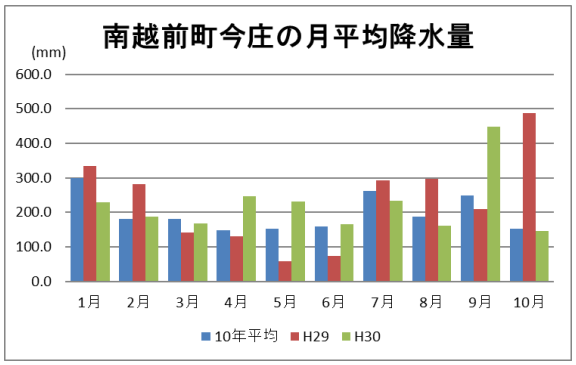

福井市の月平均気温
(℃)
35.0
30.0
25.0
20.0
15.0
10.0
5.0
0.0
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月
10年平均 H29 H30

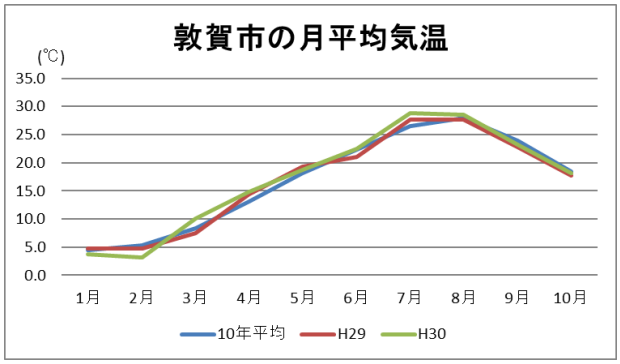

福井市の月平均降水量
(mm)
600.0
500.0
400.0
300.0
200.0
100.0
0.0
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月
10年平均 H29 H30

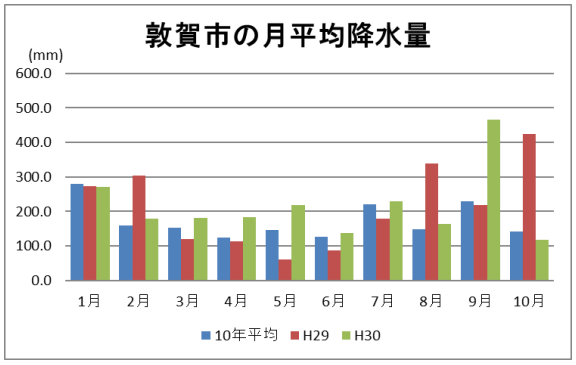

大野市の月平均気温
(℃)
30.0
25.0
20.0
15.0
10.0
5.0
0.0
-5.0
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月
10年平均 H29 H30

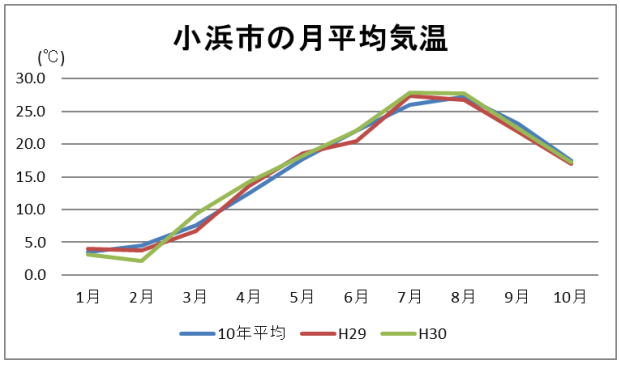

大野市の月平均降水量
(mm)
600.0
500.0
400.0
300.0
200.0
100.0
0.0
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月
10年平均 H29 H30

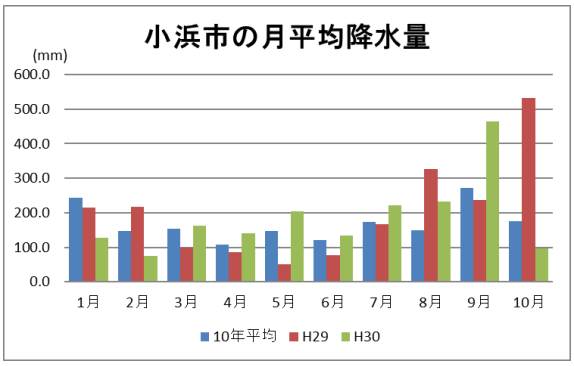

南越前町今庄の月平均気温
(℃)
30.0
25.0
20.0
15.0
10.0
5.0
0.0
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月
10年平均 H29 H30


南越前町今庄の月平均降水量
(mm)
600.0
500.0
400.0
300.0
200.0
100.0
0.0
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月
10年平均 H29 H30


敦賀市の月平均気温
(℃)
35.0
30.0
25.0
20.0
15.0
10.0
5.0
0.0
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月
10年平均 H29 H30


敦賀市の月平均降水量
(mm)
600.0
500.0
400.0
300.0
200.0
100.0
0.0
1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月
10年平均 H29 H30


小浜市の月平均気温
(℃)
30.0
25.0
20.0
15.0
10.0
5.0
0.0
1月
2月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
10年平均
H29
H30


小浜市の月平均降水量
(mm)
600.0
500.0
400.0
300.0
200.0
100.0
0.0
1月
2月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
10年平均
H29
H30